

川口 信

かわ

ぐち

しん

奈良県議会議員

御所市選出

無所属



1 期目の主な議員活動



◀2024.8.16

南部・東部地域振興対策特別委員会の県内調査として、奈良県立十津川高等学校、十津川村役場に訪問

2025.8.28▶

経済労働委員会の県内視察で、なら歴史芸術文化村、農業研究開発センター、西吉野柿選果場に訪問



◀2026.3.8

京奈和自動車道大和御所道路 榎原高田IC(大阪方面接続ランプ)開通式典に出席

他にも南部振興や防災、空き家対策など勉強会、視察に参加し県政に活かしています。



▲授業料無償化



▲防災とアリーナに特化した勉強会



▲空き家や農業振興、災害に対する取り組み



▲広域化のメリットや、消防体制のさらなる整備について意見交換

毎年、御所市内で県政報告会を実施



1989年2月27日 御所市大字柏原 生まれ
2001年 御所市立掖上小学 卒業
2004年 智辯学園中学校 卒業
2007年 智辯学園高等学校 卒業
2011年 早稲田大学 先進理工学部 卒業

所属

奈良県中小企業連合会 理事
こふれ21(企業連・中企連若手経営者の会)
一般社団法人 榎原青年会議所(JCI榎原)
一般社団法人 奈良県軟式野球連盟 副会長
ダイードリンコ杯少年野球大会 会長



各種SNSで情報発信中です





京奈和自動車道整備 御所南フルインター化を

2026年3月、京奈和自動車道橿原高田インターチェンジに大阪方面への接続ランプが開通しました。御所南インターチェンジのフルインターチェンジ化と側道整備も進められるよう、**国・県・市が一丸となって取り組んでいます。**

御所IC工業団地整備の促進

第1期募集は2027年3月引き渡し予定で進んでいます。第2期は2029年秋以降の引き渡しに向けて整備しています。引き続き、御所市と県で連携しながら、中南和地域の産業振興と雇用創出に取り組んでいます。



※県HP公開資料(<https://www.pref.nara.lg.jp/n100/p066001.html>)を基に作成



薬事研究センターの 建て替えを御所市内に！

建物の老朽化と耐震性不足で一時的に仮移転している薬事研究センターは、御所市と大和郡山市の家畜保健衛生所を集約して、**御所市内の県有地で再整備することが決定しました。**現在、2026年度中の基本計画策定に向けて進んでいます。

国・県・市の連携より強固なものへ

御所市民1人あたりの県の補助金額は2023年度に引き続き、県内12市の中でもトップクラスの実績を維持しています。国の補助金については、他市がごみ焼却施設事業や、こども園建設などで増額したため順位を落としましたが、今後、**さらに国・県・市とのパイプを深め、国・県からの補助金を有効に活用し、御所市のまちづくりに繋げていきます。**

御所市の市民1人あたりの補助金額 県内12市ランキング		
	国庫支出金	県支出金
2024(令和6)年度	5位	3位
2023(令和5)年度	1位	3位
2022(令和4)年度	1位	3位
2021(令和3)年度	1位	3位
2020(令和2)年度	1位	7位

クビアカツヤカミキリ対策



御所市近隣でも被害があり、桜や果樹の保護を早急に対策してほしいと皆様から意見を多くいただいております。県でも**最新の知見に基づいた指導、防除方法の共有など、技術的な支援**に取り組んでいます。2026年7月には全国初となる環境省と県との意見交換会が開催され、森下千里環境大臣政務官(当時)や関係者らとクビアカツヤカミキリに対し、国からの更なる支援を要望しました。



教育・スポーツ



格差のでない部活動の地域移行

中南和地域では「指導者不足」「移動手段の確保」「受け皿の不足」という三重苦に直面しています。移動距離などの負担も含め、**生徒によって格差が出ないように取り組んでいます。**

企業版ふるさと納税活用した学校整備

御所市や生駒市などで企業版ふるさと納税を活用した学校整備や教育改革に取り組んでいます。企業版ふるさと納税獲得については市町村に任せるだけでなく、県でも県外企業に対し働きかけをいただくように要望を行っており、**各学校の特色に沿った学校単位での施設改修や部活動支援など柔軟な支援に対応できる仕組み作りを進めています。**

県立高校の整備

県立高校の体育館への空調整備（エアコン）は、災害時の避難所としての機能や熱中症対策の観点から、設置計画の前倒しと早期整備を議会などで要望し、**約4年の前倒しとなる2031年度中に完了予定で整備が行われています。**合わせて、**県立高校のトイレをすべて洋式化、乾式化する「トイレピッカピカ5カ年計画」も2028年度完了予定**で進んでおり、学校環境の改善が着実に形になっています。



国スポ開催など見据えた新県立アリーナ整備

2031年に奈良県で開催の国民スポーツ大会、全国障がい者スポーツ大会などを見据え、橿原市に新たなアリーナ建設を進めています。観客席が約5000席規模で、スポーツだけでなくコンサートやイベントにも活用し、**中南和地域の活性化にもつながる奈良県最大級の多目的施設として、2027年度頃の着工予定**で進んでいます。



県内のスポーツ振興にも尽力

毎年開催しているガイドードリンコ杯少年野球大会は、例年県内から100チーム前後に参加いただいている奈良県最大規模の大会です。ほかにもグラウンド・ゴルフやゲートボール、ペタンクの大会等、**幅広い世代に向けたスポーツ振興**に取り組んでいます。

防災

土砂・洪水氾濫対策と遊砂地事業について

近年、気候変動に伴う豪雨が頻発化し、本県でも土砂・洪水氾濫へ重点的な対策を行わなければなりません。流れてくる大量の土砂を一時的に受け止め、インフラ被害や人家の孤立を未然に防ぐ「遊砂地」等の**効率的な施設整備を積極的に進め、早期の効果発現に向けて取り組んでいます。**現在、**大和川水系の葛城川において、県初の土砂・洪水氾濫対策の検討**を進めています。

五條の広域防災拠点メガソーラー設置案中止へ

五條市の県有地に整備が進めている大規模広域防災拠点で、当初予定されていたメガソーラー設置案に対し、同じ会派のメンバーと共に、議会や地元の意見を十分に踏まえるよう、計画の見直しを求めました。議会での審議を経て、**メガソーラー設置は取りやめ、老朽化した消防学校の移設を含めた南部中核拠点を整備する形**となりました。

2026年3月29日に五條市で南部中核拠点先行整備竣工式典が開催された



経済・その他

《仮称》医大新駅周辺整備の 交通渋滞リスク指摘

医療・研究・交通を結び、新県立アリーナの整備も進む医大新駅周辺について、民間の資金とノウハウを活用する「PFI事業」の対象エリアが、当初の予定より拡大したことで、**さらなる交通渋滞のリスクが考えられることを指摘。県と橿原市が連携して新駅周辺のまちづくりに取り組んでいきます。**



※県の資料を基に作成



中小企業支援や企業誘致など

中小企業支援に関する補助金や、県の企業相談窓口「よろず支援拠点」などが、しっかり地元企業に行き届くよう、運用のチェックや改善を求めています。また、京奈和自動車道のインターチェンジ周辺などへの企業誘致を推進し、県外からの投資を呼び込むことで、**県内中小企業との取り引きや連携が生まれる仕組みづくりを提唱**しています。

リニア中央新幹線、大和郡山市ルートで早期確定を

リニア中央新幹線の奈良県内における中間駅の有力候補地は、JR平城山駅周辺、八条・大安寺地区周辺、そして大和郡山市のJR・近鉄交差部周辺の3カ所です。私は**中南和地域の経済振興のため、大和郡山市ルートの立場で**取り組んでいきます。

特殊詐欺被害の拡大防止に向けて

近年、奈良県内でも「特殊詐欺」や「SNS型投資詐欺」「ロマンス詐欺」の被害が急増し、特にSNSを用いた投資の勧誘や、親密さを装い金銭を引き出す手口は、年代・性別を問わず被害が拡大しています。県警察などと連携し、**特殊詐欺被害拡大防止に向けた取り組みや情報発信**を積極的に行っています。昨年度は県民1人あたりの特殊詐欺被害金額で奈良県が全国ワースト1位となり、2026年9月15日より「特殊詐欺非常事態宣言」を発令しています。

合 同 演 説 会

2027年 2月21日(日)



奈良県議会議員
川口 信
かわぐち しん



御所市長
山田 秀士
やまだ しゅうじ

ぜひご来場ください!

10:00 開会 入場料無料 予約不要

防災交流館 Mimoro 奈良県御所市三室111-1

※場所は変更になる可能性がございます。